

調査位置

9月(台風後)調査結果

ウミヒルモ類・リュウキュウズタの生育状況

調査範囲：50m×50m
調査時期：平成17年9月

調査点	全体被度	ウミヒルモsp.1	ヒメウミヒルモ	ホウウミヒルモ	ウミヒルモsp.2	ウミヒルモsp.3	リュウキュウズタ	底質(%)						実測水深(m)	
	生育被度(%) 生育面積(m ²)	生育被度(%) 生育面積(m ²)	生育被度(%) 生育面積(m ²)	生育被度(%) 生育面積(m ²)	生育被度(%) 生育面積(m ²)	生育被度(%) 生育面積(m ²)	生育被度(%) 生育面積(m ²)	砂	泥	砂泥	礫	転石	岩盤		
1	5~10% 2000 m ²	<1% 10 m ²		5~10% 2000 m ²	<1% 5 m ²		<1% 1 m ²			100					5.4
2	1~5% 1250 m ²	1~5% 1000 m ²		<1% 150 m ²	<1% 100 m ²			95			5	+		6.0	
3	<1% 50 m ²	<1% 25 m ²			<1% 25 m ²			90			5	5		5.3	
4	1~5% 1000 m ²	<1% 10 m ²		<1% 1000 m ²	<1% 1 m ²		<1% 1 m ²			100				12.4	
5	5~10% 1000 m ²	<1% 10 m ²		5~10% 1000 m ²	<1% 10 m ²		<1% 1 m ²			100				5.2	
6	1~5% 1500 m ²	1~5% 1500 m ²		<1% 100 m ²	<1% 1 m ²		<1% 1 m ²			100				16.3	
7	1~5% 1000 m ²	<1% 20 m ²		1~5% 1000 m ²			<1% 25 m ²			100				13.3	
8	<1% 25 m ²	<1% 25 m ²		<1% 1 m ²	<1% 5 m ²			95			+	+		8.0	
9	1~5% 2000 m ²	1~5% 2000 m ²		<1% 25 m ²						100				17.3	
10	1~5% 1250 m ²	1~5% 1250 m ²		<1% 50 m ²						100				16.7	

注)1. + : 5%未満を示す。

2. ウミヒルモsp.1 : 内村氏提唱(2005)のオオウミヒルモ(平成17年3月までウミヒルモ)

3. ヒメウミヒルモ : 内村氏提唱(2005)のトゲウミヒルモ

4. ウミヒルモsp.2 : 内村氏提唱(2005)のウミヒルモ(平成17年3月までウミヒルモ属)

5. ウミヒルモsp.3 : 内村氏提唱(2005)のヒメウミヒルモ

* : 全体比度の生育面積と各種類の生育面積の合計は、生育地が重複している場合は等しくならない場合がある。

ニライカナイゴウナの出現個体数

	泡瀬地区										津堅島地区		
	St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	St.6	St.7	St.8	St.9	St.10	St.11	St.12	St.13
ニライカナイゴウナ	3	7	1	15	7	21	0	0	28	6	0	1	2

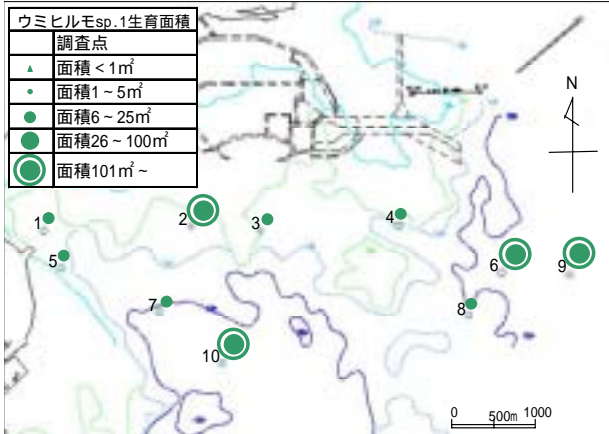
オサガニヤドリガイの出現個体数

	泡瀬地区					勝連地区	
	St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	St.6	St.7
オサガニヤドリガイ	148	295	561	355	170	124	35

オキナワヤワラガニの出現個体数

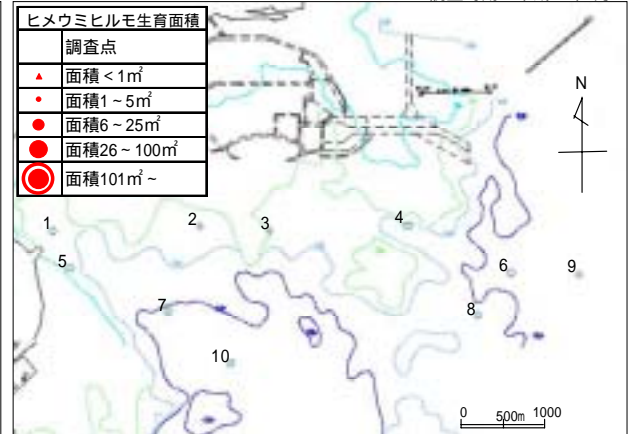
	個体数
St.A (仮設橋梁付近)	143
St.B	345

調査時期：平成17年9月



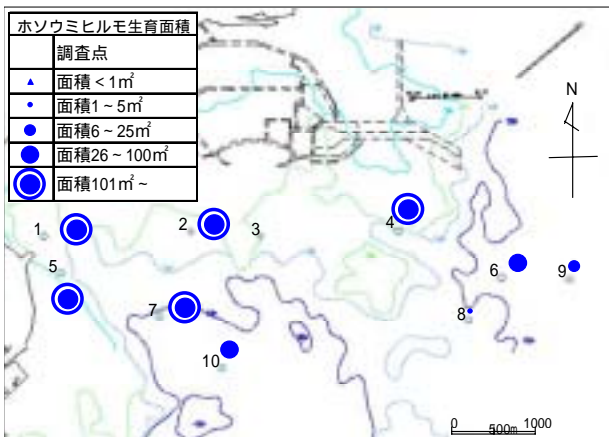
ウミヒルモsp.1

(内村氏提唱のオオウミヒルモ(平成17年3月までウミヒルモ)を示す。)

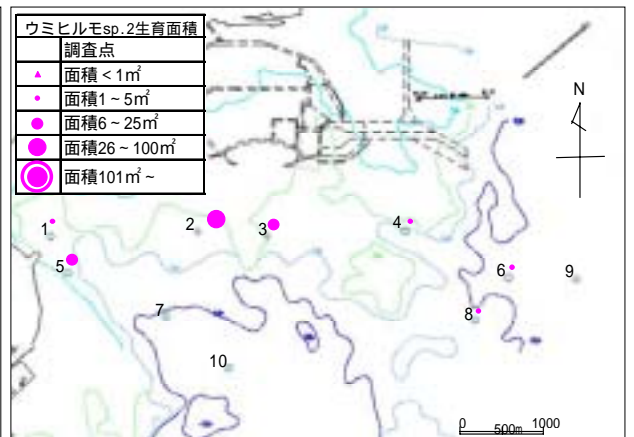


ヒメウミヒルモ

(内村氏提唱のトゲウミヒルモを示す。)

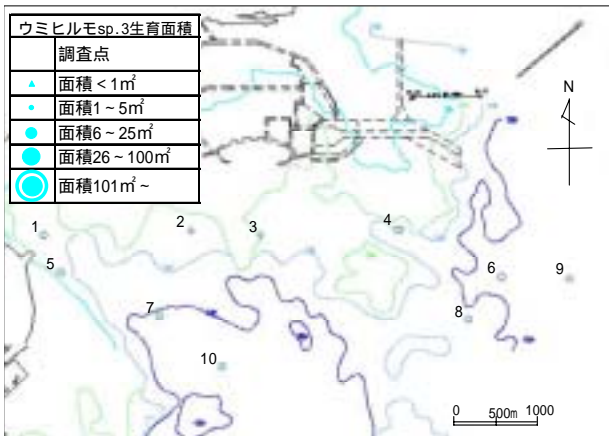


ホソウミヒルモ



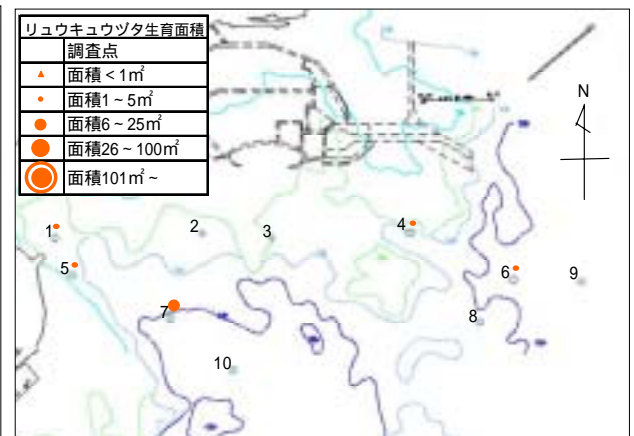
ウミヒルモsp.2

(内村氏提唱のウミヒルモ(平成17年3月までウミヒルモ属)を示す。)



ウミヒルモsp.3

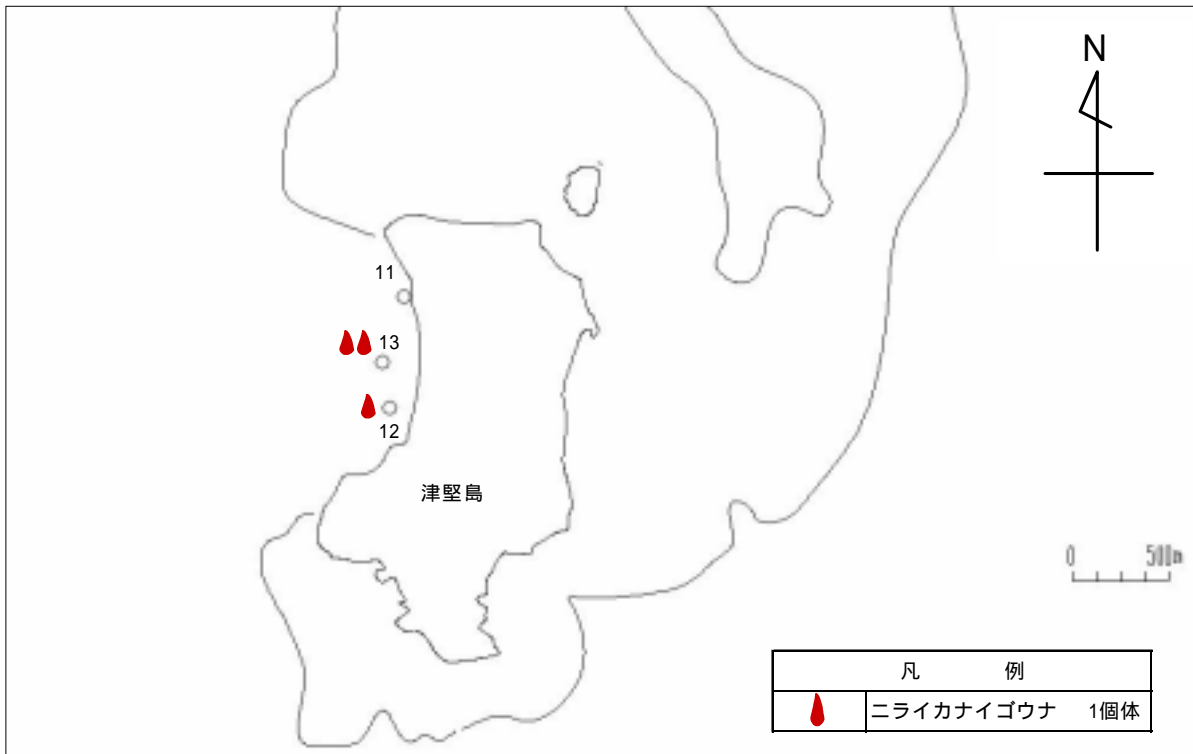
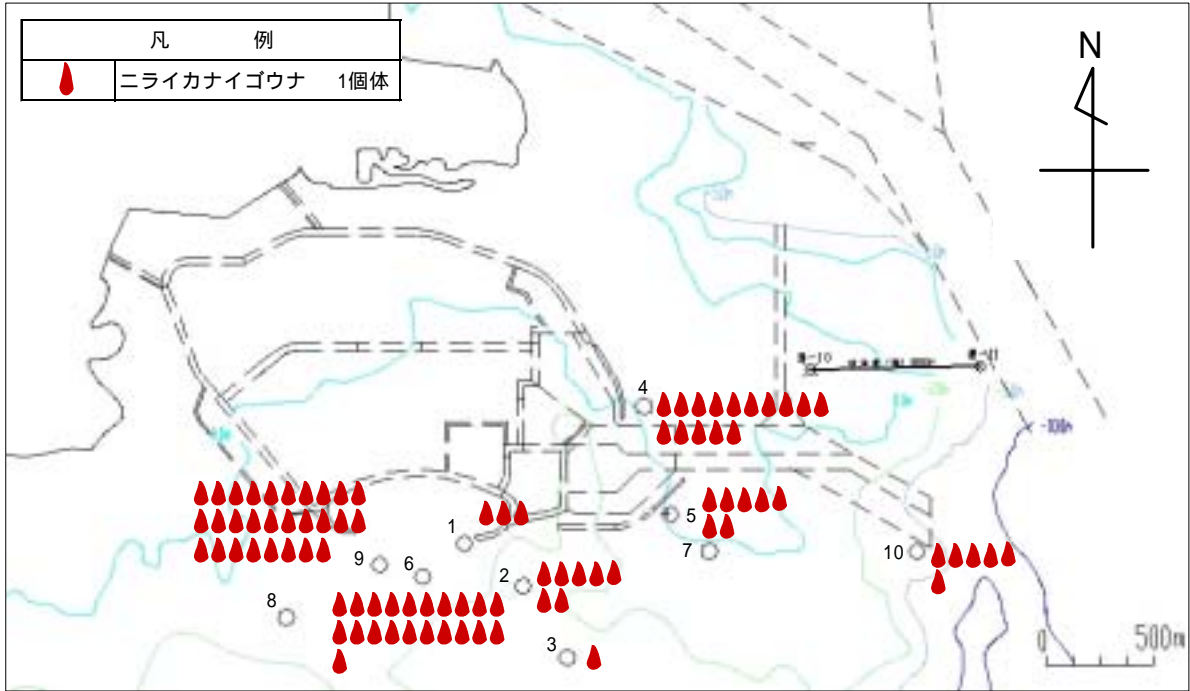
(内村氏提唱のヒメウミヒルモを示す。)



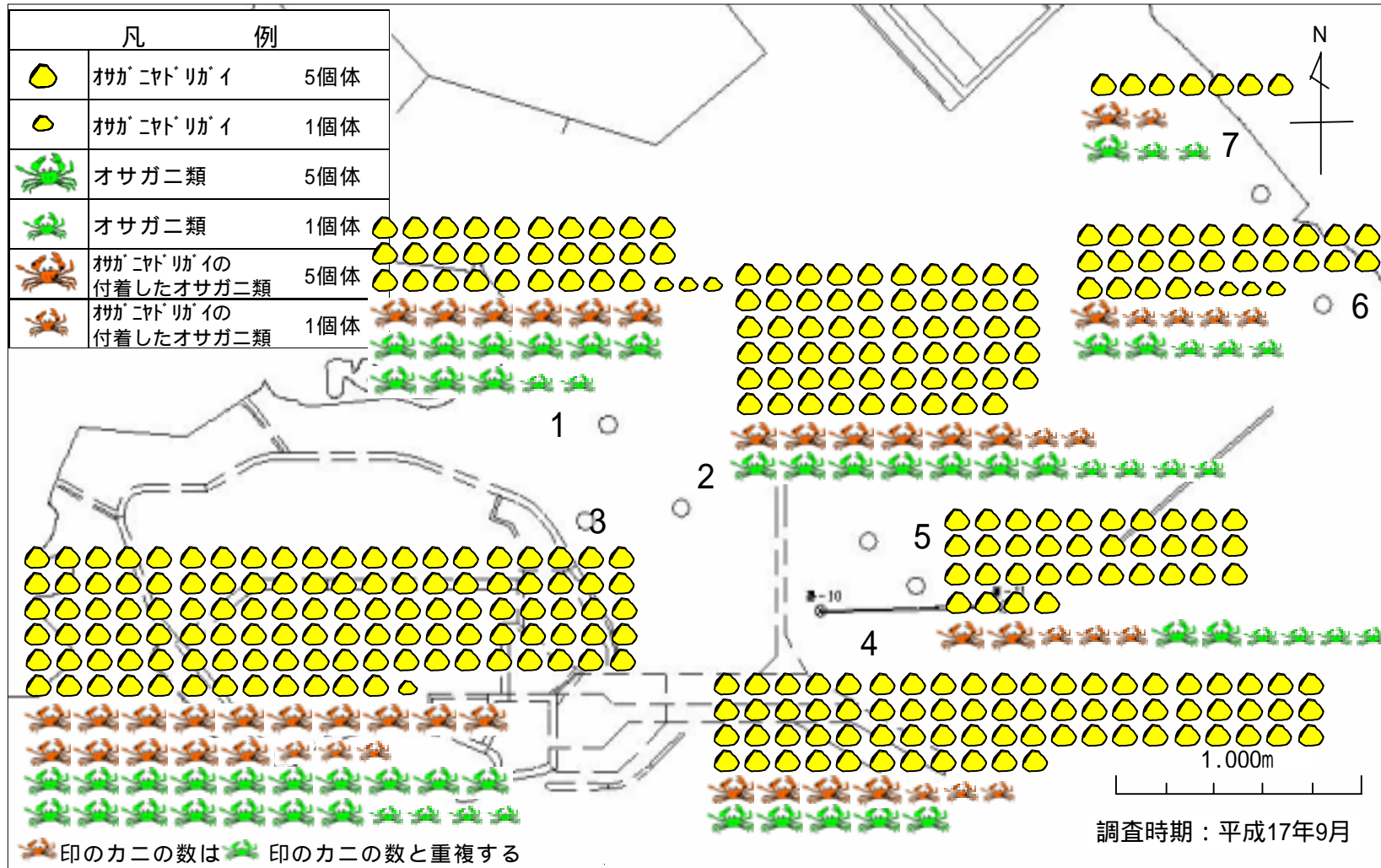
リュウキュウツタ

ウミヒルモ類・リュウキュウツタの分布状況 (9月(台風後)調査結果)

調査時期：平成17年9月



ニライカナイゴウナの分布状況 (9月(台風後)調査結果)



オサガニヤドリガイの分布状況 (9月(台風後)調査結果)

オキナワヤワラガニ監視調査結果（9月台風後）

調査日時

A地点：平成17年9月14日（気温：28.2、天候：晴時々雨）

B地点：平成17年9月15日（気温：27.2、天候：曇り時々雨）

間隙水分析結果

調査点	調査日	水温 ()	ph (-)	塩分 (-)	DO (mg/L)	CODMn (未ろ過) (mg/L)
St.A	H.17 9.15	32.9	7.8	34.8	<0.5	3.5
St.B	H.17 9.15	34.0	7.6	35.8	3.3	8.3

底質分析結果

調査点	調査日	色相	臭気	ORP (mV)	酸化層厚 (cm)	硫化物 (mgS/g)	CODsed (mgO/g)
St.A	H.17 9.15	暗オリブ 灰	磯臭	-124	3.0	0.05	2.7
St.B	H.17 9.15	緑黒	微硫化水 素臭	-66	1.0	0.07	2.3

調査点	粒度組成 (%)						底質の 分類名
	粗礫分	中礫分	細礫分	粗砂分	細砂分	シルト 粘土分	
St.A	3.4	32.7	5.4	22.6	30.0	5.9	シルトまじり 砂
St.B	2.0	17.5	4.6	28.5	42.0	5.4	粘土まじり 砂

オキナワヤワラガニ生息状況

